

3. 経営方針

当社グループは、「お客さま満足No.1企業」実現をめざし、本年3月、「関西電力グループ中長期計画」を策定し、中長期的な視点から、事業経営の質を高めつつ、さらに成長を押し上げていくとともに、こうした取組みを効果的に進める中で、従業員の成長を促していくことといたしました。

本年度は、その初年度として、CSR（企業の社会的責任）を軸に「安全最優先・お客さま価値の創造・人づくり」の3つのアクションプランに沿った取組みを展開しております。

具体的には、安全最優先が、すべての事業活動の根幹であるとの認識のもと、美浜発電所3号機事故の反省を肝に銘じ、安全管理のしくみの充実を図るとともに、全社で自律的な安全の取組みを推進しております。

また、お客さま価値の創造については、その前提となる電力の安全・安定供給の使命を確実に果たしてまいり、本年7月には、オーストラリアにおけるブルートLNGプロジェクトへの参画を決定するなど、引き続き、エネルギーセキュリティの確保に努めております。さらに、地球環境などについての社会的要請や原子力発電所の耐震性確保に適切に対応しつつ、今後とも、原子力を基軸に最適な電源構成を構築し、効率的で高品質な電力流通設備を維持してまいります。

一方、当社グループは、高品質で省エネ性に優れ、環境にも優しい商品・サービスをご提供・ご提案しております。ご家庭のお客さまには、CO₂削減に寄与する省エネ型給湯機であるエコキュートをはじめとするオール電化による安心・快適・経済的な暮らしをお届けするよう努めております。また、法人のお客さまには、お得な料金メニューと高効率機器等を最適に組み合わせて、経済的で環境性に優れたエネルギーソリューションのご提供に努めており、本年8月には、エネルギーに関する個々のサービスをワンストップでご提供する「株式会社 関電エネルギーソリューション」を設立いたしました。

さらには、総合エネルギー、情報通信や生活アメニティのグループ各社の連携により、総合力を発揮しながら、当社グループならではのソリューションをご提供しています。

また、海外事業につきましても、収益性の確保を重視しながら、積極的に展開してまいります。

こうしたすべての取組みの原動力である従業員一人ひとりの成長を支えるしくみづくりにも、引き続き注力しております。

このように、今年度上期の取組みは、おかげさまで、当初の予定どおり順調に進捗しており、中長期計画の着実なスタートを切ることができました。

現在、わが国経済は緩やかに回復を続けており、関西地域においても大規模な企業進出が発表されるなど、今後とも電力需要が堅調に推移すると予想される一方、エネルギーセキュリティの確保や地球環境問題への積極的な対応が、ますます重要視されております。また、本年7月に発生した新潟県中越沖地震により、電力の安全・安定供給に対する社会的関心が一層高まっています。

当社グループは、「関西電力グループ中長期計画」を着実に遂行することにより、こうした課題に適切に対応しながら、さらなる前進を続けてまいりたいと存じます。

アクションプランで掲げた取組みを確実に遂行することにより、当社グループは、グループ一体となって持続的な成長を図りますが、一方で、成長を支える財務基盤の強化にも注力していかなければなりません。

そのため、財務体質強化のための指標として、連結自己資本比率および連結有利子負債残高の2つを掲げ、財務体質の強化に取り組んでまいります。

連結自己資本比率	30%程度（平成19年度末目途）
連結有利子負債残高	3.0兆円程度（平成19年度末目途）